

びふかニューパブリック協議会

第2回協議会 結果報告書

- と き 平成26年3月25日(火曜)
- ところ 役場中会議室

第2回びふかニューパブリック協議会 結果報告

■とき 平成26年3月25日 15:00～15:55

■ところ 美深町役場 中会議室（2階）

■出席者

<協議会委員>

園部一正、菅野明美、宇野育子、伊東武雄、越智茂信、佐藤町子、森元康好、小野寺憲子、十亀 孝、匂坂澄子、今泉和司、瓜田 晃、木戸一博

<専門部>部長 秋山裕保

<事務局>総務課長 渡辺英行、企画グループ主幹 玉置一広、
同副主幹小林一仙、同主事 寒藤亮太

<地域おこし協力隊>中島千世子、安積祥紀

計20人

1 開 会 ～園部一正会長

年度末の忙しい中での出席に感謝、25年度活動内容の経緯、26年度の計画について協議したい。

2 報告事項 ～事務局：小林副主幹から報告

(1) 会議等開催経過

H25. 5. 27 平成25年度第1回協議会

・会長及び監査選出 ・専門部会の設置 ・25年度事業について

H26. 2. 19 平成25年度第1回専門部会

H26. 2. 28 自治会連合会専門部会・美深町民生委員協議会懇談会

<質疑なく確認された>

(2) 平成25年度買い物支援事業実施状況 資料1-2、資料1-3

- ・地域おこし協力隊員2人を採用し宅配を実施(8月から)。
ローテーションで配達を行っている。
- ・中島隊員、安積隊員それぞれ自己紹介。
- ・資料についての説明

<資料1-2>

自治会別の登録状況、登録者の構成、月別利用状況、曜日別利用状況

<資料1-3>

- 一人当たり利用回数、実利用者の年齢構成、区域別配達回数、未利用者の構成
- ・協力隊員が行った登録者アンケート結果の報告<別紙1>

<質疑>

園部会長～この事業がもっと使われたら良いということより、皆さんが健康で自分で買い物することが一番の願い。

委員～配達物としては食食品、重いものが多いのか。

事務局～利用店舗としてはラルズ、美深スーパーの2箇所のみ。
主に食料品の配達である。

委員～自分のものよりもサークルで買い物することが多く、人を頼んで配達してもらっている。COMなどにも配達してもらえると助かる。

園部会長～貴重な意見であるが、当初からのこの協議会ではそこまでの考えを持っていない。協議会がどこまでやるべきか、これからも意見を聞きながらやりたい。ラルズ、美深スーパーは配達を行わないので利用が集中しているように見えるが、実態として店舗によっては日ごろから配達も行っていることをご理解してほしい。

<確認された>

3 議 事

(1) 高齢者見守り事業の実施について ～事務局 小林副主幹から説明

資料4にて美深町における見守りの現状を説明。

- ・「さりげない見守り」、「担当による見守り」、「専門的な見守り」の3つの体制
↓
「担当による見守り」隊員の機動力を活かして取り組む
- ・高齢者生活実態調査～349人を調査、295人から回答
- ・不安を抱えている高齢者の状況把握や緊急時の対応について、ニューパブリック協議会としてどうかかわっていくか
定期的な見守りの必要がある 80人、
定期的見守りの希望33人、計113人 を対象にすすめる

第2回びふかニューパブリック協議会 結果報告

資料2にて具体的な見守りの方法について説明。

- (1) 高齢者生活実態調査113人のうち30人程度を対象にパブリック協議会で見守りに着手
包括支援センターで対象を選定、19人に打診して意向を確認している。
(登録予定内訳は別紙2) 利用料は無料。
 - (2) 19人を防災情報端末機に登録し、毎日、安否確認のための画面を配信。
「スマイル」「不在連絡」の2ボタンのみ。(画面イメージは別紙3)
 - (3) 配信時間は朝8時30分頃とし、9時ころから隊員が返信状況を確認する。
 - (4) 返信がない場合は、電話は訪問で安否を確認する。
自治会、民生委員には訪問確認の協力をお願いする。
- ※問題点～朝の安否確認後、具合が悪くなったとしても、翌日の朝の配信までは確認する方法がない。
⇒少なくとも、1日以上放置されることがないという面で安心感につながれば。

<質疑>

園部会長～いろいろな自治体でこうした事業に取り組まれている。
防災端末を利用しながら実施していきたい。

委員～登録する19人の中には緊急通報設置者はいるか。

事務局～緊急通報電話の設置がされていない方を選定している。

67歳～91歳の方が登録し男性3人女性が16人。90歳代が2人。

園部会長～60歳代の希望者はどんな理由で希望しているのか。

事務局～65歳以上独居で安心ほっとカプセルを設置している方なので、身体に何らかの不安を抱えている方である。

委員～配信は画面だけか。もしくは音声も配信するのか。

事務局～画面及び音声もしくは音楽などを考えている。忘れられないような方法を考えていきたい。

委員～安否確認は簡単なようで大変なものと思っている。19人については、個人情報もあるが民生委員等を通じて自治会長くらいには教えてほしい。地域も一緒になってできれば。

事務局～安否の確認は自治会や民生委員とともにやることとするので、情報を知らせて協力をお願いしたい。

園部会長～わが町も高齢化が進んだが、生活環境だけは都会化している。
おせっかいが嫌われたり難しい面もある。

委員～地域の老人クラブや高齢者学級などでかわりができるので自治会も助かっている。

園部会長～農村部に比べ町の中は難しい問題もある。

委員～最近、身内の認知症の問題に始めて向き合った。
相談先などどうしたらよいものか。

瓜田委員～認知症の関係は包括支援センターに相談してほしい。

<承認された>

(2) 平成26年度事業について 資料3

資料3にて安否確認及び宅配について全体の流れについて説明。

<質疑なく承認された>

4 閉会 (終了15:55)





第2回協議会資料

＜宅配担当地域おこし協力隊員＞

- ＜主な業務＞
- ① 買い物支援(宅配サービス)及び高齢者等見守り活動業務
 - ② 観光事業支援業務(イベント運営、観光PR等)
 - ③ その他、地域力の維持・強化に資するため必要な活動のほか隊員提案の業務



なかじま ち せ こ
中島千世子
(札幌市出身)



あづみ よしのり
安積 祥紀
(埼玉県出身)

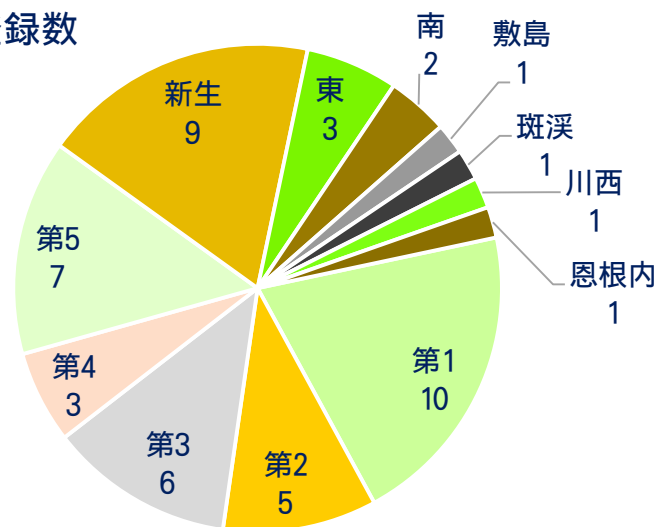
お問い合わせ電話番号：2-3336(地域おこし協力隊事務所)

宅配事業利用状況

登録数49人、実利用数25人(これまでに利用した延人数)

自治会別登録数
(49人)

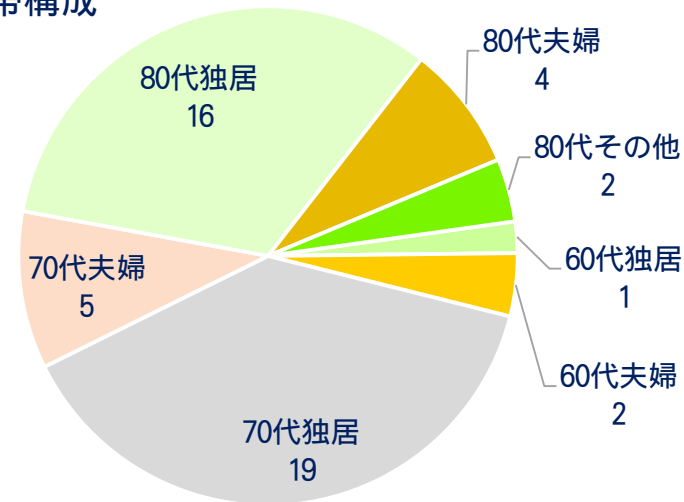
第1、第5、新生自治会からの登録が多い



年齢・世帯構成

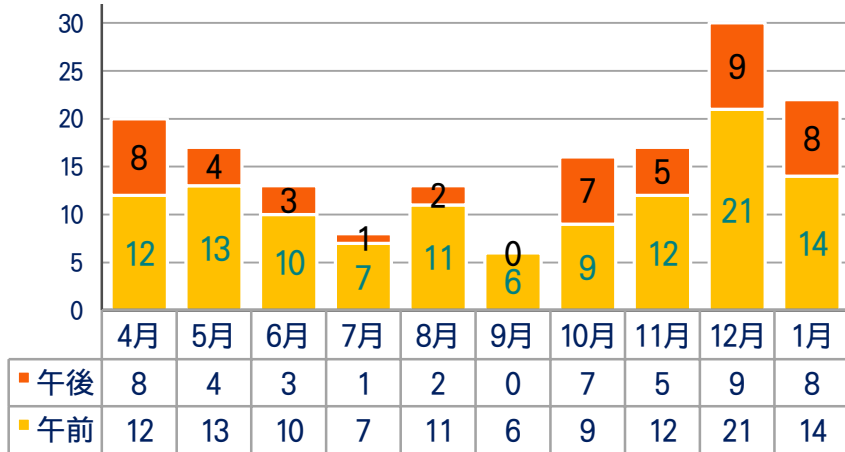
70歳代、80歳代の独居が多く35人(71%)

夫婦世帯は11件(23%)



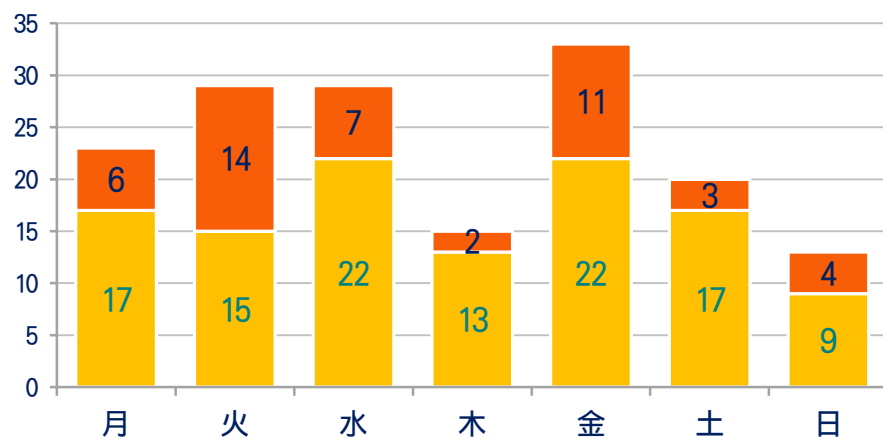
月別利用状況
(件)

全162件中、午前が115件(70%)午後47件
12月以降の冬期の利用が増加している



曜日別・配達時間別
(件)

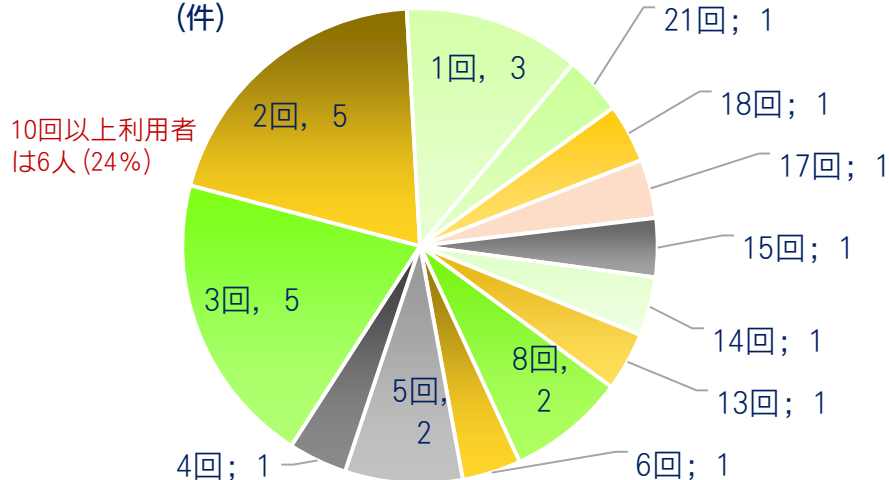
木曜、日曜の利用が少ない(理由は不明)



宅配事業利用状況

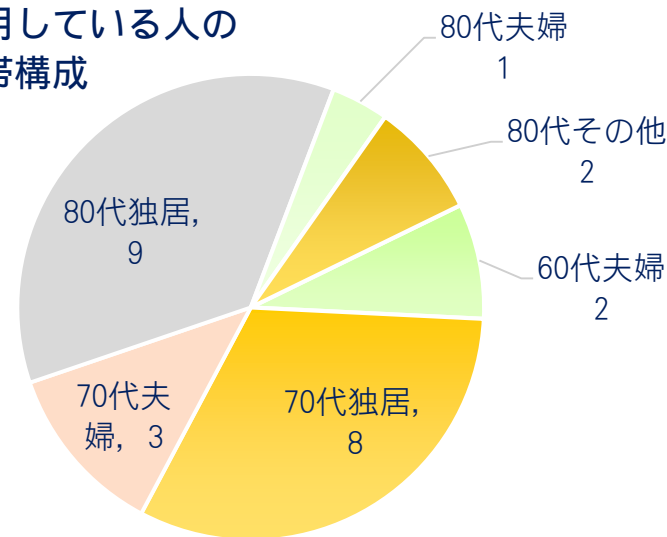
4月～1月：午前115件、午後47件、合計 162件 (月平均16.2件)

一人当たり利用回数別
(件)



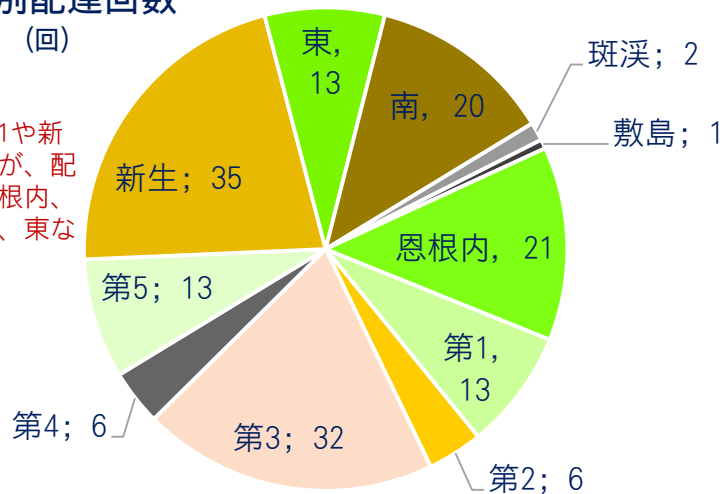
実際に利用している人の
年齢・世帯構成
(25件)

独居の方が17件
(68%)

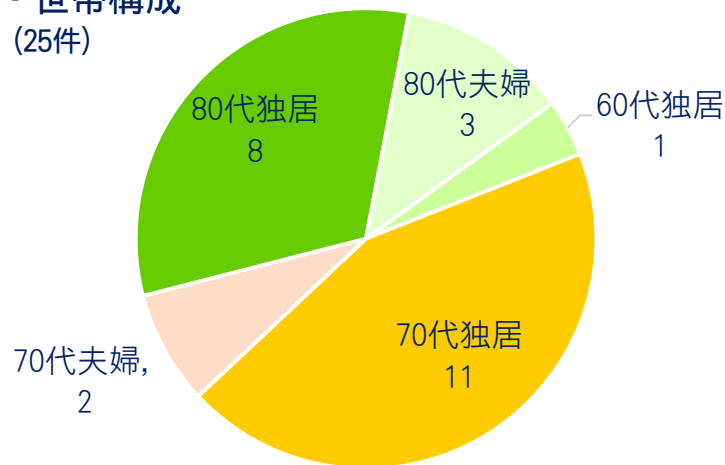


区域別配達回数
(回)

登録は第1や新生が多いが、配達先は恩根内、南、第3、東などが多い



利用しない人の
年齢・世帯構成
(25件)



見守り事業の実施について(実証事業)

利用者の登録

当面は実証のため、昨年福祉で実施した「高齢者等生活実態調査」で見守りが必要または見守りを希望するとした中から、30人程度選出して利用登録。



登録に当たっては、地域おこし協力隊員が訪問して説明する。

1

サービスの提供

防災情報端末機親機に、サービスを利用する高齢者を登録し、毎朝、安否確認する画面を定時配信(午前8時30分頃)

利用者は、画面上の「確認」ボタンを押して回答。



2

返信状況確認

地域おこし協力隊員は、毎朝、端末機親機にて利用者からの返信状況を確認。

防災情報端末機での回答がない利用者には、防災情報端末機から電話をかけて状況を確認。



3

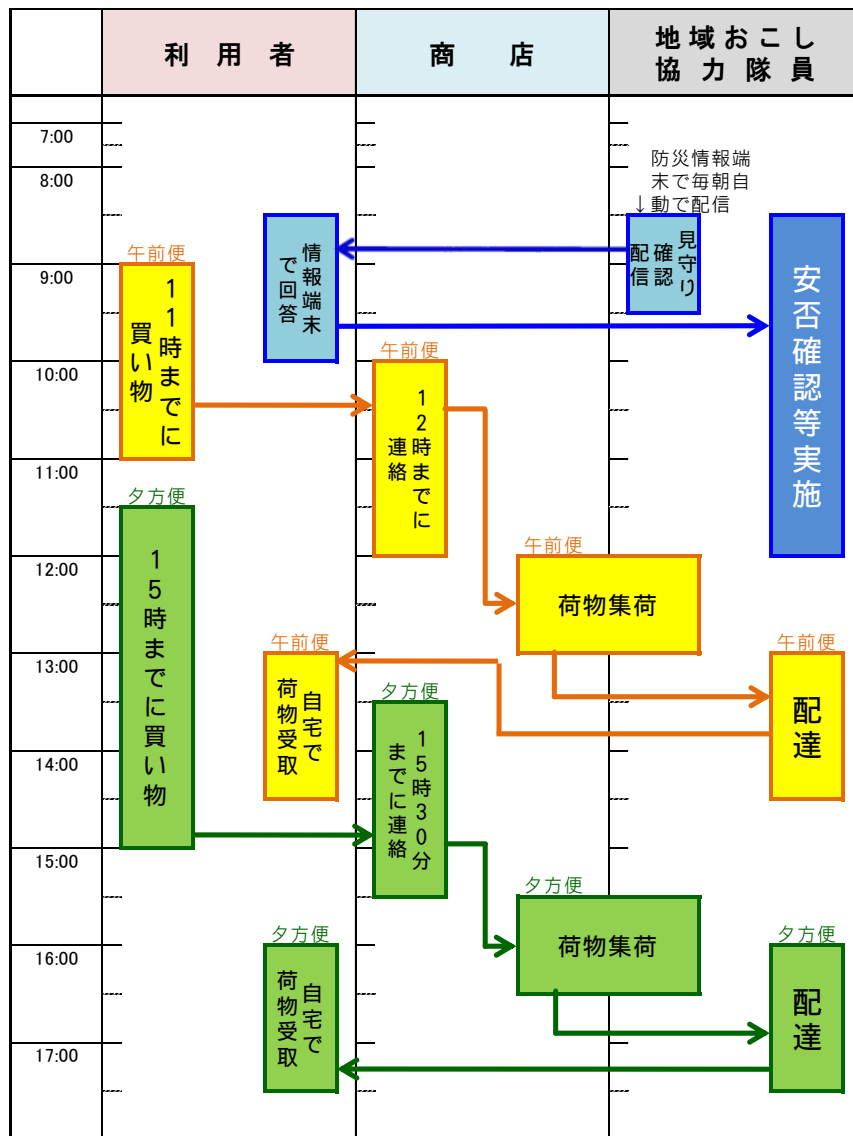
安否の確認

電話に反応がないときや明らかに様子がおかしいときは、救急119番通報や役場、自治会、民生委員などに連絡を取るとともに訪問して確認。



4

宅配・見守りサービスの流れ



< 見守りの実施 >
 利用者～防災情報端末機で回答
 協力隊～9：00までに回答状況確認
 ・状況に応じ電話、訪問
 民生委員、自治会等と連携

< 午前便 >
 利用者～11：00までに買い物
 商店～12：00までに
 宅配受付事務所に連絡
 協力隊～12：00から集荷、
 13：00以降、利用者宅へ配達

< 夕方便 >
 利用者～15：00までに買い物
 商店～15：30までに
 宅配受付事務所に連絡
 協力隊～15：30から集荷、
 16：00以降、利用者宅へ配達

〈介護サービス〉

ヘルパー事業、デイサービスなどサービスを提供する際の見守り

〈びふかニューパブリック協議会〉

宅配サービスの際の見守りなど

(1) 背景

高齢化が急速に進展する中、地域には、高齢者、障がい者、一人で家族の介護をされている方、生活に困窮している方など、何らかのサポートを必要とする方も暮らしています。多くの方は、住み慣れた地域で自宅暮らし続けることを望んでおり、地域での支え合う仕組みとして「見守り」の体制構築が必要となっています。

本町においては、第5期美深町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の「4地域包括ケア体制の構築」「(1)地域で支える体制づくり」として位置付け、計画的な取り組みを行っております。

(2) 高齢者等の見守りの現状

① さりげない見守り

地域住民や民間事業者、老人クラブや趣味の会など日常生活、日常業務の中で、いつもと違う、何かおかしいと感じる人がいたら連絡・相談するなど地域でさりげない見守りを行う活動。

〈地域〉

地域住民が、さりげなく気に留めてる見守り（新聞がたまっていないか、カーテンが閉じたままになっていないか、昼間でも電気がついたままになっていないかなど）

〈民間事業者〉

新聞配達員の協力による見守り

〈老人クラブ等〉

それぞれの活動参加の声掛けなどを通じた見守り

② 担当による見守り

定期的な声かけが必要な人に対して、民生委員や自治会活動など担当者が定期的に行う見守り活動。また、介護サービスを利用されている方などは、サービス提供事業者も見守りに含まれ、びふかニューパブリック協議会の宅配サービスも見守りにつながることが期待されます。

〈民生委員〉

各地区の民生委員が訪問などを行う見守り活動

〈自治会〉

自治会が中心となり高齢者の生きがい活動や介護予防活動が定期的に行われ、その参加者に対する見守り活動（第2自治会：井戸端の会、第3：ちょぼら、第5自治会：高齢者サロン）

① 専門的な見守り

認知症や虐待など対応が困難なケース等に対して、地域包括支援センター職員が専門的な知識や技術を持って行う見守り。

(2) 高齢者の実態把握と情報交換

昨年度実施した高齢者等生活実態調査について、調査内容をデータ化し、必要に応じて各地区民生委員と情報の交換を行っています。

【生活実態調査】

対象者：349人（65歳以上の独居高齢者）

回収：295人（回収率84.5%）

調査項目：日常生活の様子（室内状況、買い物、通院、入浴、聴力）、認知症について、閉じこもりの確認など

調査結果：総合判断 定期的な見守りの必要性がある 80人

本人希望 定期的な見守りを希望する 33人

(3) 高齢者への各種対応

① 緊急通報装置の設置

高齢者等の方で、病気やけがで動けなくなった場合、緊急通報装置のボタンを押すことで、直接、消防に連絡が行きます。また、火災やガス漏れなどが発生した場合も自動的に感知して消防署に通報されます。

設置世帯数：77世帯（H26.2.19現在）

② 安心ほっとカプセルの設置

緊急時に備えて、連絡先やかかりつけの医療機関などを明確にし、救急車が駆けつけた時に本人が意思を示すことができなくても、所定の場所に情報を記載したカプセルを設置しておくことにより、適切な対応をとることができるようにするものです。

設置世帯数：65歳以上の独居世帯 297世帯

75歳以上の高齢世帯 137世帯

合計 434世帯

（H26.2.19現在）

宅配登録者アンケート結果

別紙1

アンケート実施概要

実施主体：地域おこし協力隊

配布：平成26年1月21日～(郵送)

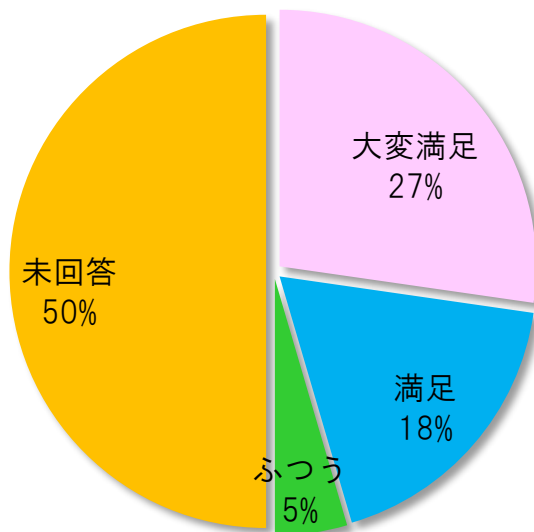
回収： " 2月3日～(訪問回収)

回収率：95.7%

宅配サービスに関する満足度、改善点などについて聞き取りアンケート調査及び聞き取り調査を行った

満足度

- 大変満足
- 満足
- ふつう
- 未回答



＜利用経験者からの意見＞

- 要望無し(13件)
- サービスは便利で助かっている、感謝している。(2件)
- 長く続けてほしい。(2件)
- 午前で購入した生鮮品が午後配達になって不安になったことがある。
- 目が悪くなったので買い物が困難だが、家族が買い物してくれるので今後の利用は減るかもしれない。
- 自宅以外へも配達してもらえると助かる。
- 15時の宅配締め切り時刻を、もう少し延ばしてほしい。
- 商店街の活気を取り戻す前に病院関係の再編を検討してもらいたい。
- 女性の配達員が安心する。
- 簡単な御用聞きサービスがあれば助かる。
- 対象店舗にセイコーマートを加えてほしい。

＜未利用者からの意見＞

- 自分でまだ買い物ができる(10件)
- 利用する店が配達してくれる。
- 娘、家族と一緒に買い物に行っている。(5件)
- なま物の扱いで店員に断られてから使いづらくなった。
- 今後利用する機会もあると思うのでサービスは続けてほしい。
- バスと時間が一致しない。
- 冬はハイヤーを使っているが夏は利用したい。

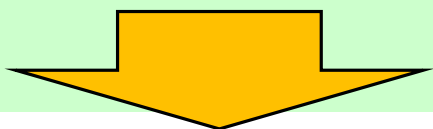


見守り事業登録予定者

第1自治会	9人
第2自治会	1人
第5自治会	3人
新生自治会	1人
南自治会	2人
敷島自治会	2人
東自治会	1人

計19人

あ ん し ん
ス マ イ ル
ボ タ ン



スマイル



翌日以降、不在になる予定がある
ときに押してください
(詳細は電話で確認します)



不在連絡